

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施 策	28 都市計画 ー快適で便利なまちづくりを進めますー		
重点プロジェクト		美しく活気ある暮らしやすいまちプロジェクト		
総合戦略				
主 管 課		都市政策部 都市計画課	評価責任者	山風呂 敏
			評価日	令和7年6月2日
関 連 課		公園緑地課、建築課、道路課		
目 標		安全・安心で快適な生活環境を整えつつ、持続可能なまちづくりを進めるため、無秩序な開発を抑制しつつ、地域の特性を生かした計画的なまちづくりを進めます。		
施策目標の実現 に向けた取組		(1) 計画的なまちづくりの推進 ○「ふじみ野市都市計画マスタープラン」などに基づき、各地域が持つ特性を生かした計画的なまちづくりを進めます。 ○開発許可制度等を適切に運用し、無秩序な開発の防止及び良好な宅地水準の確保を図り、安全で住みよい街づくりを進めます。 (2) 将来を見据えた市の玄関口の検討 ○市の玄関口となる上福岡駅周辺については、地域の拠点として、将来を見据えた安全、便利なまちづくりを検討します。 (3) 美しい景観の保全 ○屋外広告物の適正掲示及び安全管理を事業主に啓発するとともに、違反簡易屋外広告物の撤去を進めます。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	都市計画審議会の開催数						
		説明	都市計画に関する事項について、公平かつ専門的な第三者による都市計画審議회를令和6年5月、7月、10月、令和7年3月に計4回実施した。						
		単位	回						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	1	1	1	1	1	1	1
		実績値	4						
	指標2	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標3	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標4	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標5	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	37,472	0	0	0	0	0	0
	人件費	103,465	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	16,129	0	0	0	0	0	0
	一般財源	124,808	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	都市計画マスタープラン策定	令和元年度に策定した都市計画マスタープランを基に都市計画行政を推進するとともに進捗状況について確認し、市民にとって快適なまちづくりの方策を引き続き検討した。	令和元年策定の都市計画マスタープランに示すまちづくりの実現に向け、「多様な手法」「多様な主体」による効率的なまちづくりを実現した。
取組②	開発許可審査等事務	市内で行われる一定の開発行為や建築行為について、開発行為等指導要綱に基づく事前協議並びに都市計画法の開発許可制度に基づき無秩序な開発防止を図り、良好なまちづくりを誘導した。	市の開発指導要綱に基づく開発行為等の事前協議を実施し、開発区域の面積が3,000㎡以上の案件については、審査会と幹事会を実施した。また、都市計画法に基づく、開発行為等の許可を行うことで、計画的なまちづくりに寄与した。
取組③			
取組④			
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	引き続き都市計画法及び都市計画マスタープラン等に基づき、快適で便利なまちづくり、各地域が持つ特性を活かした計画的なまちづくりを進める。 市の玄関口となる上福岡駅東口駅前広場整備については、横断歩道橋が設置されたことにより、歩行者の安全性の向上が図られた。中長期的には、東口駅前広場の都市計画決定面積の確保を最優先として事業の進捗を図るが、残った用地取得を進めるためには様々な課題の解決が必要となる。最終的な駅前広場の整備計画の策定については、用地交渉の進捗にあわせ、駅の利用状況や駅前広場周辺のまちづくりの課題等を踏まえて検討する。 良質な宅地開発を促進するため開発許可制度等を適切に運用し、無秩序な開発の防止及び宅地水準の確保を図る。また、都市計画法の許可対象にならない一定規模の開発についても開発事前協議を行い、良質な都市環境の保全及び健全な発展を図ることを進める。
順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
大きな効果が得られている	